

農業経営基盤強化の促進に関する  
基本構想策定基礎資料

平成24年3月  
(平成29年3月改正)

青森県弘前市

〈平成 28 年度 農業経営基盤強化促進法に基づく基本構想の見直し〉

区分	平成 28 年度～	～平成 27 年度			
1 農業所得 (1) 主たる従事者の農業所得 (2) 世帯当たりの農業所得	400万円程度 560万円程度	380万円程度 500万円程度			
新規就農者 主たる従事者の農業所得 世帯当たりの農業所得	200万円程度 280万円程度	190万円程度 250万円程度			
2 労働時間	変更なし	1人当たりおおむね 2,000時間以内			
3 農業経営体数等 (1) 育成する農業経営体  (2) 法人数  (3) 新規就農者数	1,655経営体  130経営体  30人/年	<table border="0"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">[</td> <td style="padding: 0 10px;">                 2,150経営体                  個別経営体                  2,100経営体                  組織経営体                  50経営体             </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">]</td> </tr> </table>	[	2,150経営体 個別経営体 2,100経営体 組織経営体 50経営体	]
[	2,150経営体 個別経営体 2,100経営体 組織経営体 50経営体	]			
4 農業経営の基本的指標 (1) 経営規模 (2) 技術体系 (3) 営農類型数	変更なし	類型ごとに表示 類型ごとに表示 8類型（個人7、組織1）			
5 担い手の農地利用シェア	80%	68%			

## 主要指標の検討結果

### 1 所得目標

#### (1) 主たる従事者の所得

他産業従事者と遜色のない生涯所得を確保することを前提とし、農業者年金、主たる従事者の所得を得る期間を考慮して 400 万円とする。

◇主たる従事者の所得

= (他産業従事者の生涯所得 - 農業者年金)

÷主たる従事者として所得を得る期間

= (208,240 千円 - 16,759 千円) ÷ 38 年

「参考の ①」 「参考の ②」 「参考の ③」

≒ 5,000 千円

他産業の所得の増などを考慮して、目標所得の下限を 400 万円 (≒500 万円×80%) に設定。

〈参考〉

#### ① 他産業従事者の生涯所得

= サラリーマンの生涯賃金 + 退職金 + 年金受給額

= 172,859 千円 + 14,599 千円 + 20,783 千円

= 208,240 千円

##### i) サラリーマンの生涯賃金

= 年間支給額 × 45 年分(20~64 才)

= 3,841.3 千円 × 45 年

= 172,859 千円

(資料：厚生労働省：平成 26 年賃金構造基本統計調査報告書)

##### ii) 退職金

= 全国の退職金 × 青森平均年収 ÷ 全国平均収入

= 19,872 千円 × 3,841.3 千円 ÷ 5,228.8 千円

= 14,599 千円

(資料：厚生労働省：平成 26 年賃金事情等総合調査)

##### iii) 年金受給額

= 受給年額 × 受給期間(65~77.3 才(平均寿命))

= 1,689.7 千円 × 12.3 年

= 20,783 千円

(資料：日本年金機構：国民年金・厚生年金保険 老齢基礎年金・老齢厚生年金  
平成 27 年度版)

#### ② 農業者年金

年金受給額

= 受給年額 × 受給期間(65~77.3 才(平均寿命))

= 1,362.5 千円 × 12.3 年

= 16,759 千円

③主たる従事者として所得を得る期間

農業従事期間(45年間)を1期(20~26才)、2期(27~57才)、3期(58~64才)に分け、所得は、1期は父親と(本人:1/3)、3期は後継者(本人:2/3)と所得を按分することとし、農業に正味従事する期間を38年(3期=次世代の1期)とする。

(2) 世帯当たりの農業所得

主たる従事者の農業所得と補助従事者の農業所得、補助従事者数を考慮して、560万円とする。

◇世帯当たりの所得

$$= \text{主たる従事者の所得} + (\text{補助従事者の年間所得} \times \text{補助従事者数})$$

$$= 5,000 \text{ 千円} + (1,054 \text{ 千円} \times 1.2 \text{ 人})$$

「参考の①」 「参考の②」

$$\simeq 6,300 \text{ 千円}$$

他産業の所得に比べ、稲作所得の減などを考慮して、目標所得の下限を560万円に設定。

〈参考〉

①家族労働費(時間単価)

男女平均時間給=家族労働費÷家族労働時間(平成25年産米の生産費)

$$1,319 \text{ 円} = 28,850 \text{ 円} \div 21.88 \text{ 時間}$$

家族労働費(男女平均時間給に、平成26年賃金構造基本統計調査による女性平均所得・男性平均所得の比を乗じる)

家族労働費=男女平均時間給×(女性平均所得÷男性平均所得)

$$1,054 \text{ 円} \simeq 1,319 \text{ 円} \times (2,700 \text{ 千円} \div 3,381 \text{ 千円})$$

②補助従事者の年間農業所得

= 家族労働費 × 労働時間(主たる従事者の半分の労働時間とする)

$$= 1,054 \text{ 円} \times 1,000 \text{ 時間}$$

$$\simeq 1,054 \text{ 千円}$$

③補助従事者数:1.2人

(2010年農林業センサスより、3ha以上の販売農家を対象として算出)

(ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数-主たる従事者)÷販売農家戸数

$$= (20,860 \text{ 人} - 9,398 \text{ 人}) \div 9,398 \text{ 戸}$$

$$\simeq 1.2 \text{ 人}$$

2 労働時間

他産業並の労働時間を前提に、おおむね2,000時間とする。

◇労働時間

$$= \text{他産業の月労働時間(平成25年賃金構造基本統計調査報告書)} \times 12 \text{ か月}$$

$$= 163 \text{ 時間} \times 12 \text{ か月}$$

$$\simeq 2,000 \text{ 時間}$$

### 3 農業経営の基本的指標

#### (1) 経営規模

現行基本構想と同様に目標所得を確保し得る規模とし、具体的には営農類型ごとに設定する。

#### (2) 技術体系

現行基本構想と同様に自立経営体が営農類型ごとに、最新技術を導入して到達できる水準とする。

#### (3) 営農類型数

現行基本構想を基に自然的経済的社会的諸条件を考慮して、個別経営体の営農類型は現状の7類型のままとする。

(別紙の営農類型別の農業経営規模等に関する指標を参照)

#### 4 農業経営体数等

##### (1) 育成する農業経営体数

経営体数の推移を基に認定農業者数、集落営農組織、認定新規就農者、基本構想水準到達者の目標等を加味して算出し、1,655 経営体とする。

◇育成する農業経営体数の目標

目標数＝認定農業者数（集落営農組織を除く）＋認定新規就農者数＋集落営農組織数＋基本構想水準到達者数

1,655 経営体＝1,360 経営体＋75 経営体＋10 経営体＋210 経営体

〈算出基礎〉

今後育成すべき経営体の推移

(単位：経営体数、%) ※法人数は除く

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	平均
認定農業者	1,236	1,231	1,130	1,133	1,180	1,211	—
増減数	—	▲5	▲101	3	47	31	▲5
増減率	—	▲0.4%	▲8.2%	0.3%	4.1%	2.6%	▲0.3%
認定新規就農者	—	—	—	—	26	41	—
増加数	—	—	—	—	—	15	15
集落営農組織	21	21	21	21	20	15	—
増減数	—	0	0	0	▲1	▲5	▲1.2
増減率	—	0%	0%	0%	▲4.8%	▲25%	▲6%
基本構想水準到達者					186	228	207
計	1,257	1,252	1,151	1,154	1,412	1,495	

※弘前市調べ

〈参考〉

##### ①認定農業者

直近年次の経営体数を基に、5 か年平均増減率 (H23～H27) を掛け、「人・農地プラン」における中心経営体で、認定農業者の要件を満たす農業者を誘導するものとして算出。

○認定農業者数＝H27 認定農業者数＋同左×増減率×10 年＋「人・農地プラン」における中心経営体で認定農業者となっていない農業者数

1,360 経営体＝1,211 経営体＋1,211 経営体×(－0.3%)×10 年＋179 経営体

##### ②認定新規就農者

制度開始後1年間の増加数を基に、認定期間の5年間積み重なることを想定して算出。

○認定新規就農者数＝H26年度～H27年度の増加数×5年

75 経営体＝15×5年

##### ③集落営農組織

直近年次の経営体数を基に、5 か年平均増減率(H23～H27)を掛けて算出。

○集落営農組織数＝H27 集落営農組織数＋同左×増減率×10年

10 経営体＝15 経営体＋15 経営体×(－6%)×10年

##### ④基本構想水準到達者

直近2年間の平均値から算出。

○基本構想水準到達者＝直近2年間の平均値

210＝(186 経営体＋228 経営体)÷2

## (2) 法人数

認定農業者数と集落営農組織の法人数の推移を基に、それぞれの目標数を算出し、法人数を 130 法人とする。

◇法人数

法人数＝認定農業者数（集落営農組織を除く）の法人数＋集落営農組織の法人数

130 法人＝100 法人＋30 法人

〈算出基礎〉

今後育成すべき経営体における法人の推移

(単位：経営体数、%)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	平均
認定農業者の法人数	26	29	33	35	40	46	
増減数	—	3	4	2	5	6	4
増減率	—	11.5%	13.8%	6.1%	14.3%	15%	12.1%
認定新規就農者の法人数	—	—	—	—	1	1	
集落営農組織の法人数	4	6	8	8	9	10	
増減数	—	2	2	0	1	1	1.2
増減率	—	50%	33.3%	0	12.5%	11.1%	21.4%
基本構想水準到達者の法人数	—	—	—	—	0	1	
計	30	35	41	43	50	58	

※弘前市調べ

〈参考〉

### ① 認定農業者の法人数

直近年次の法人数を基に、5 か年平均増減率(H23～H27)を掛けて算出。

○認定農業者の法人数＝H27 認定農業者法人数＋同左×増減率×10年

100 法人＝46 法人＋46 法人×12.1%×10年

### ② 集落営農組織の法人数

直近年次の法人数を基に、5 か年平均増減率(H23～H27)を掛けて算出。

○集落営農組織の法人数＝H27 集落営農組織法人数＋同左×増減率×10年

30 法人＝10 法人＋10 法人×21.4%×10年

※認定新規就農者及び基本構想水準到達者の法人数は、直近の法人数が極めて少ないことから、今回の目標数の設定に算入しない。

## 3) 新規就農者数

平均就農年数を 45 年（20 歳から 64 歳まで）として、「育成する農業経営体数」の維持が可能となる目標を設定し、30 人とする。

〈算出基礎〉

○新規就農者数＝育成する農業経営体数÷平均就農年数

30 人／年＝1,655 経営体÷45 年

## 5 担い手の農地利用のシェア

効率的かつ安定的な農業経営が地域の農用地の利用に占める面積のシェア

「人・農地プラン」における中心経営体の現状面積と 5 年後の目標面積のデータから試算した 10 年後（平成 37 年度）の集積増加面積及び将来の耕地面積を基に、今後の状況を加味して、80%とする。

### ◇平成 37 年度の農地利用のシェア

農地利用のシェア = 目標年の集積面積 ÷ 目標年の農地面積

$$80\% \div 11,246\text{ha} \div 13,550\text{ha}$$

「参考の(2)の表 4」

〈参考〉

#### (1) 耕地面積

平成 27 年の耕地面積は 14,450ha（田：4,350ha、畑：10,100ha）であるが、転用が見込まれるもの等を考慮すると平成 37 年の耕地面積は 13,550ha（田：3,700ha、畑：9,850ha）と見込まれる。

将来の耕地面積：13,550ha

平成 27 年耕地面積 - (年平均減少面積 × 10 年)

田：4,350ha - (65ha × 10 年) = 3,700ha

畑：10,100ha - (25ha × 10 年) = 9,850ha

合計：3,700ha + 9,850ha = 13,550ha

表 1 年度別耕地面積

(単位：ha)

区分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
田	4,610	4,580	4,480	4,390	4,350
前年比較	—	▲30	▲100	▲90	▲40
畑	10,200	10,200	10,100	10,100	10,100
前年比較	—	0	▲100	0	0
計	14,810	14,780	14,580	14,490	14,450
前年比較	—	▲30	▲200	▲90	▲40

農林水産省発表資料より

#### (2) 平成 37 年集積面積

農地中間管理機構の目標と整合性を図るため、平成 35 年度までに 8 割を集積し、平成 37 年までの残り 2 年はこれを維持することを想定した。

平成 27 年の集積面積（表 2）に「人・農地プラン」における中心経営体の現状面積（表 3）と 5 年後の目標面積（表 3）のデータから算出した増加面積（表 4）を加えて、11,246ha を目標集積面積とする。

先に算出した平成 37 年度の「育成する農業経営体数」及び「法人数」に集積することで、80%の集積率を目指す



表2 利用集積耕地面積

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用集積面積(ha)	8,869	9,003	9,145	9,222	9,305
利用集積率	60.4%	61.6%	62.9%	63.8%	64.7%
前年比較ポイント	—	+1.2	+1.3	+0.9	+0.9

表3 「人・農地プラン」における中心経営体の現状面積と目標面積

(単位：ha)

区分	面積
現状①	3,148
5年後②	5,089
増加(②-①)	1,941

表4 表2での集積面積に表3で算出した増加面積を加算

(単位：ha)

区分	面積
27年度集積面積 ①	9,305
10年後増加面積 ②	1,941
37年度集積面積 ③=①+②	11,246
37年度耕地面積 ④	13,550
集積率 ⑤=③/④	83.0%

・「育成する農業経営体数」及び「法人数」の目標数から、10年後の農地利用の集積を図る担い手を1,785経営体とする。

表6 10年後の農地利用集積を図る担い手

(単位：経営体)

	平成27年度	平成37年度	増加数	備考
育成する農業経営体数	1,497	1,655	158	a
法人数	54	130	76	b
合計	1,551	1,785	234	c:a+b

## 新規就農者の経営指標

### (1) 経営指標設定の考え方

- ①労働時間 : 1人当たり年間おおむね2,000時間程度
  - ②栽培技術 : 基本技術を励行し到達できる水準
  - ③家族労働力: 1~2人
  - ④経営規模 : 農業所得目標(世帯あたり280万円程度)を確保しうる規模
  - ⑤農産物単価: 認定農業者の指標に準ずる
  - ⑥家族労働費: 1,054円/時間
  - ⑦雇用賃金 : 707円/時間
- (⑦: ※平成26年農作業料金・農業労賃に関する調査(青森県農業会議)より)

### (2) 新規就農者の経営指標

営農類型	概 要				
果樹 (りんご)	① 家族労働力 1.5人 (年間延べ雇用日数 36日)				
	② 経営面積 水田 普通畑 樹園地 牧草地		合 計		
	( )はうち借地 1.35(1.35)		1.35(1.35)ha		
	③ 経営規模 (ha)		④ 経営収支 (千円、時間)		
	作 目	面 積			
	果樹			粗収益	10,464
	りんご			経営費	7,626
	ふじ(有袋)	0.4		所 得	2,838
	ふじ(わい化無袋)	0.25		労働時間	2,952
	つがる(無袋)	0.2			
	つがる(わい化無袋)	0.25			
	王林(無袋)	0.25			
	計	1.35			

営農類型	概 要																															
果樹＋野菜	① 家族労働力 2.0人 (年間延べ雇用日数 25日) ② 経営面積 水田 普通畑 樹園地 牧草地 合計 ( )はうち借地 0.14(0) 0.9(0) 1.04(0)ha ③ 経営規模 (ha) ④ 経営収支 (千円、時間)																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作 目</th> <th>面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>果樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>りんご</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふじ (有袋)</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>ふじ (わい化無袋)</td> <td>0.27</td> </tr> <tr> <td>つがる (わい化無袋)</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>王林 (無袋)</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トマト</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.04</td> </tr> </tbody> </table>	作 目	面 積	果樹		りんご		ふじ (有袋)	0.35	ふじ (わい化無袋)	0.27	つがる (わい化無袋)	0.1	王林 (無袋)	0.18	野菜		トマト	0.14	計	1.04		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>粗収益</td> <td>10,617</td> </tr> <tr> <td>経営費</td> <td>7,756</td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>2,861</td> </tr> <tr> <td>労働時間</td> <td>3,021</td> </tr> </tbody> </table>	粗収益	10,617	経営費	7,756	所得	2,861	労働時間	3,021	
作 目	面 積																															
果樹																																
りんご																																
ふじ (有袋)	0.35																															
ふじ (わい化無袋)	0.27																															
つがる (わい化無袋)	0.1																															
王林 (無袋)	0.18																															
野菜																																
トマト	0.14																															
計	1.04																															
粗収益	10,617																															
経営費	7,756																															
所得	2,861																															
労働時間	3,021																															
主食用米＋大豆	① 家族労働力 1.5人 (年間延べ雇用日数 89日) ② 経営面積 水田 普通畑 樹園地 牧草地 合計 ( )はうち借地 9.5(0) 9.5(0)ha ③ 経営規模 (ha) ④ 経営収支 (千円、時間)																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作 目</th> <th>面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻 (主食用米)</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9.5</td> </tr> </tbody> </table>	作 目	面 積	水稻 (主食用米)	5.0	大豆	4.5	計	9.5		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>粗収益</td> <td>11,628</td> </tr> <tr> <td>経営費</td> <td>8,769</td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>2,859</td> </tr> <tr> <td>労働時間</td> <td>1,667</td> </tr> </tbody> </table>	粗収益	11,628	経営費	8,769	所得	2,859	労働時間	1,667													
作 目	面 積																															
水稻 (主食用米)	5.0																															
大豆	4.5																															
計	9.5																															
粗収益	11,628																															
経営費	8,769																															
所得	2,859																															
労働時間	1,667																															
主食用米＋野菜	① 家族労働力 1.5人 (年間延べ雇用日数 21日) ② 経営面積 水田 普通畑 樹園地 牧草地 合計 ( )はうち借地 4.8(0) 0.2(0) 5.0(0)ha ③ 経営規模 (ha) ④ 経営収支 (千円、時間)																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作 目</th> <th>面 積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻 (主食用米)</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トマト</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	作 目	面 積	水稻 (主食用米)	2.5	大豆	2.3	野菜		トマト	0.2	計	5.0		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>粗収益</td> <td>10,932</td> </tr> <tr> <td>経営費</td> <td>8,110</td> </tr> <tr> <td>所得</td> <td>2,822</td> </tr> <tr> <td>労働時間</td> <td>2,261</td> </tr> </tbody> </table>	粗収益	10,932	経営費	8,110	所得	2,822	労働時間	2,261									
作 目	面 積																															
水稻 (主食用米)	2.5																															
大豆	2.3																															
野菜																																
トマト	0.2																															
計	5.0																															
粗収益	10,932																															
経営費	8,110																															
所得	2,822																															
労働時間	2,261																															

営農類型別の農業経営規模等に関する指標

果樹(りんご)

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	4,520,880	3,468,048	1,052,832	60
ふじ(わい化・無袋)	2,583,000	1,822,110	760,890	30
ふじ(早生・わい化)	2,957,616	1,841,736	1,115,880	30
つがる(普通)	3,117,420	2,341,958	775,463	45
つがる(わい化)	1,316,244	888,776	427,468	15
王林(普通・無袋)	2,748,960	2,037,060	711,900	40
ジョナゴールド(わい化)	1,943,040	1,261,308	681,732	20
ジュース	580,368	451,848	128,520	0
計	19,767,528	14,112,844	5,654,685	240

わい化率 39.6%

果樹(りんご+おうとう(佐藤錦))

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	4,520,880	3,468,048	1,052,832	60
ふじ(わい化・無袋)	2,583,000	1,822,110	760,890	30
ふじ(早生・わい化)	2,957,616	1,841,736	1,115,880	30
つがる(普通)	1,385,520	1,040,870	344,650	20
つがる(わい化)	438,748	296,259	142,489	5
王林(普通・無袋)	2,748,960	2,037,060	711,900	40
ジョナゴールド(わい化)	1,457,280	945,981	511,299	15
おうとう(佐藤錦)	2,112,080	1,101,332	1,010,748	20
計	18,204,084	12,553,396	5,650,688	220

わい化率 40.0%

果樹+野菜

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	4,520,880	3,468,048	1,052,832	60
ふじ(わい化・無袋)	2,583,000	1,822,110	760,890	30
ふじ(早生・わい化)	2,957,616	1,841,736	1,115,880	30
つがる(普通)	692,760	520,435	172,325	10
つがる(わい化)	877,496	592,517	284,979	10
王林(普通・無袋)	2,061,720	1,527,795	533,925	30
ジョナゴールド(わい化)	971,520	630,654	340,866	10
夏秋トマト	5,058,000	3,691,346	1,366,654	20
計	19,722,992	14,094,641	5,628,351	200

わい化率 44.4%

果樹+主食用米+飼料用米

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	4,520,880	3,468,048	1,052,832	60
ふじ(わい化・無袋)	1,722,000	1,214,740	507,260	20
ふじ(早生・わい化)	3,943,488	2,455,648	1,487,840	40
つがる(普通)	346,380	260,218	86,162	5
つがる(わい化)	1,316,244	888,776	427,468	15
王林(普通・無袋)	3,436,200	2,546,325	889,875	50
ジョナゴールド(わい化)	1,457,280	945,981	511,299	15
主食用米	998,400	906,008	92,392	80
飼料用米	477,856	368,184	109,672	40
大豆	1,077,660	621,261	456,399	90
計	19,296,388	13,675,189	5,621,199	415

わい化率 43.9%  
 転作率 61.9%

主食用米+飼料用米

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
主食用米	7,488,000	6,795,060	692,940	600
飼料用米	3,583,920	2,761,380	822,540	300
大豆	8,381,800	4,832,030	3,549,770	700
水稻(作業受託)	1,431,000	862,605	568,395	450
計	20,884,720	15,251,075	5,633,645	2,050

転作率 62.5%

主食用米+飼料用米+野菜

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
主食用米	3,744,000	3,397,530	346,470	300
飼料用米	1,791,960	1,380,690	411,270	150
大豆	3,472,460	2,001,841	1,470,619	290
夏秋トマト	6,322,500	4,614,183	1,708,317	25
ほうれんそう	3,383,640	1,701,734	1,681,906	13
計	18,714,560	13,095,978	5,618,582	778

転作率 61.4%

主食用米+飼料用米+花き

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
主食用米	4,368,000	3,963,785	404,215	350
飼料用米	1,433,568	1,104,552	329,016	120
大豆	2,754,020	1,587,667	1,166,353	230
トルコギキョウ	6,430,266	2,906,030	3,524,236	18
ケイオウザクラ	672,000	450,685	221,315	32
計	15,657,854	10,012,719	5,645,135	750

転作率 53.3%

## 野菜

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
スイートコーン	26,416,950	20,808,439	5,608,511	1,390

## 主食用米＋飼料用米(組織経営体)

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
主食用米	21,216,000	19,252,670	1,963,330	1,700
飼料用米	11,946,400	9,204,600	2,741,800	1,000
大豆	23,948,000	13,805,800	10,142,200	2,000
水稻(作業受託)	3,816,000	2,300,280	1,515,720	1,200
計	60,926,400	44,563,350	16,363,050	5,900

転作率

63.8%

## 参考 10a当たりの粗収益等について

(単位:円)

	粗収益	経営費	所得	出典
ふじ(普通・有袋)	753,480	578,008	175,472	※1
ふじ(わい化・無袋)	861,000	607,370	253,630	※1
ふじ(早生・わい化)	985,872	613,912	371,960	※1
つがる(普通)	692,760	520,435	172,325	※1
つがる(わい化)	877,496	592,517	284,979	※1
王林(普通・無袋)	687,240	509,265	177,975	※1
ジョナゴールド(わい化)	971,520	630,654	340,866	※1
ジュース	24,182	18,827	5,355	※1
おうとう(佐藤錦)	1,056,040	550,666	505,374	※2
夏秋トマト	2,529,000	1,845,673	683,327	※2
ミニトマト	5,090,400	2,016,387	3,074,013	※2
スイートコーン	190,050	149,701	40,349	※2
ほうれんそう	2,602,800	1,309,026	1,293,774	※2
ケイオウサクラ	210,000	140,839	69,161	※2
水稻(主食用米)	124,800	113,251	11,549	※1
水稻(飼料用米)	119,464	92,046	27,418	※1
水稻(作業受託)	31,800	19,169	12,631	※1
大豆	119,740	69,029	50,711	※1
トルコギキョウ	3,572,370	1,614,461	1,957,909	※1

※1 青森県農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針 個別経営の地域別営農類型(平成28年3月)

※2 主要作物の技術・経営指標より(平成27年9月 青森県農林水産部発行)

新規就農者等の営農類型別の農業経営規模等に関する指標

果樹(りんご)

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	3,013,920	2,312,032	701,888	40
ふじ(わい化・無袋)	2,152,500	1,518,425	634,075	25
つがる(普通)	1,385,520	1,040,870	344,650	20
つがる(わい化)	2,193,740	1,481,293	712,447	25
王林(普通・無袋)	1,718,100	1,273,163	444,937	25
計	10,463,780	7,625,783	2,837,997	135

わい化率 37.0%

果樹+野菜

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
ふじ(普通・有袋)	2,637,180	2,023,028	614,152	35
ふじ(わい化・無袋)	2,324,700	1,639,899	684,801	27
つがる(わい化)	877,496	592,517	284,979	10
王林(普通・無袋)	1,237,032	916,677	320,355	18
夏秋トマト	3,540,600	2,583,942	956,658	14
計	10,617,008	7,756,063	2,860,945	104

わい化率 41.1%

主食用米

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
水稻(主食用米)	6,240,000	5,662,550	577,450	500
大豆	5,388,300	3,106,305	2,281,995	450
計	11,628,300	8,768,855	2,859,445	950

転作率 47.4%

主食用米+野菜

(単位:円、a)

	粗収益	経営費	所得	作付面積
水稻(主食用米)	3,120,000	2,831,275	288,725	250
大豆	2,754,020	1,587,667	1,166,353	230
夏秋トマト	5,058,000	3,691,346	1,366,654	20
計	10,932,020	8,110,288	2,821,732	500

転作率 50.0%

参考

10a当たりの粗収益等について

(単位:円)

	粗収益	経営費	所得	出典
ふじ(普通・有袋)	753,480	578,008	175,472	※1
ふじ(わい化・無袋)	861,000	607,370	253,630	※1
つがる(普通・無袋)	692,760	520,435	172,325	※1
つがる(わい化・無袋)	877,496	592,517	284,979	※1
王林(普通・無袋)	687,240	509,265	177,975	※1
夏秋トマト	2,529,000	1,845,673	683,327	※2
水稻(主食用米)	124,800	113,251	11,549	※1
大豆	119,740	69,029	50,711	※1

※1 青森県農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針 個別経営の地域別営農類型(平成28年3月)

※2 主要作物の技術・経営指標より(平成27年9月 青森県農林水産部発行)